

# いしかわ地域づくり円陣2010 参加申込書

下記の項目をお書きいただき、郵送またはファックス・メールでお申し込みください。

\*ご記入いただいた個人情報は石川地域づくり円陣の参加者集計やご連絡のために使用します。また、石川地域づくり協会が関わる行事のお知らせに使わせていただくこともあります。

お名前(ふりがな)	所属団体(または職業)	住所(申込責任者連絡先)
TEL	FAX	Eメール

グループでの申込みの場合は、下記に参加者全員の申込み内容を記入してください。

お名前(ふりがな)	性別	年代	ご希望の分科会	昼食	全体会	交流会	一時保育の希望(竹の浦館)
				不要の方は×を	参加の方は○をご記入ください		
	男・女	歳代	第 分科会				希望の時間( : ~ : ) お子さまのお名前 ( 歳 ヶ月)
	男・女	歳代	第 分科会				希望の時間( : ~ : ) お子さまのお名前 ( 歳 ヶ月)
	男・女	歳代	第 分科会				希望の時間( : ~ : ) お子さまのお名前 ( 歳 ヶ月)

※昼食代は分科会により異なります。

■お申込み締切り 平成22年11月1日(月)

■お申込み・お問合せ先 石川地域づくり協会事務局  
〒920-8580 金沢市鞍月1-1 石川県企画振興部地域振興課内  
TEL(076)225-1312 FAX(076)225-1328 chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp

《石川地域づくり協会ホームページ》 <http://www.pref.ishikawa.jp/shinkou/dukurikyou/>

## 《会場のご案内》

分科会 ● 第1・3分科会 竹の浦館

加賀市大聖寺瀬越町イ19-1 TEL.0761-73-8812  
<http://www1.kagacable.ne.jp/~musojuku/>

第2分科会 深田久弥 山の文化館 ほか

加賀市大聖寺番場町18-2  
<http://www1.kagacable.ne.jp/~yama/>  
※集合場所は竹の浦館です(9:50集合)。

第4分科会 はづちを楽堂

加賀市山代温泉18-59-1 TEL.0761-77-8270  
<http://www1.kagacable.ne.jp/~hadutiwo/>

※当日は駅伝開催の交通規制のため、会場の駐車場は使用できません。  
周辺の山代小学校駐車場へ駐車をお願いします。(会場へは徒歩7分)

第5分科会 蘇梁館(そりょうかん)

加賀市熊坂町ハ28-3 TEL.0761-72-5350  
<http://tabunkanet.exblog.jp/6141007/>

全体会 ● 竹の浦館 多目的ホール 交流会 ● 竹の浦館 食堂 一時保育 ● 竹の浦館



今年の開催地は「加賀市」!

魅力いっぱいの加賀市で遊んで行きませんか?

《観光情報サイト》

石川県観光情報ページ ほっと石川 旅ねっと  
<http://www.hot-ishikawa.jp/>

加賀市観光情報ポータルサイト KAGA旅・まちネット  
<http://www.tabimati.net/>



参加者募集中!

## 【開催のご案内】

「地域づくり円陣」とは、地域づくりの原動力としての「エンジン」と、戦略・戦術を練り、意思統一しながら士気を高め合う「円陣」を掛け合わせたものである。

私たちがなんか、いい関係

われらwin-win同盟!  
地元を元気にする協働のシカケとシクミ

主催/石川地域づくり協会  
応援/石川県内の地域づくり団体のみなさん

開催日●平成22年11月7日(日)  
会場●(分科会)加賀市内の4会場  
(全体会・交流会)竹の浦館(加賀市大聖寺)

参加費●無料  
\*昼食は各分科会で用意します。実費をいただきます。(当日)  
\*分科会により施設入場料などが必要な場合があります。  
\*交流会は一人1,000円の会費をいただきます。(当日)

## 「円陣2010」のコンセプト

ものごとに勝ち負けは、確かにあるが、地域づくりに勝ち負けはあるのだろうか。そもそも勝ち負けとはなんだろう。

近頃、win-winの関係という言葉が使われるようになってきた。双方に利益をもたらす関係と訳されるが、それよりも「なんか、いい関係」と意識した方が、私たちにはぴったりくる。なぜなら、利益は地域づくりの手段に過ぎず、目的は地域に住まう人で「いい関係」をつくることにあるからだ。だから、win-winは「ウィン♡ウィン♡」とかわいらしく発音することが望ましい。

ところで、いい関係のひとつが協働である。「協働のまちづくり」が提唱されて久しいが、その関係が相変わらず上下であっ

たり主従であったりしていないだろうか。協働の当事者が、それは行政とNPOであったり、NPOと企業であったり、あるいは、地域住民どうしであったりするのだが、その当事者の思いを実現していく協働のありかたを、シカケとシクミをキーワードに、もう一度考えてみようと思う。

シカケがエンジン（動力）なら、シクミはトランスミッション（動力伝達装置）である。さあ、地域づくり円陣を始動させよう。加賀市で活躍する地域づくり団体が、それぞれの課題解決のために、5つの分科会を用意し、広く地域づくり仲間の参加を待っている。

## 分科会 \*当日は開始時間の30分前から受付を行います。

### 第1分科会

スローフードとまちづくり《加賀版》  
～漬物コンクールをまちづくりに変える  
シクミとシカケを考える～

（協力団体）NPO法人 竹の浦夢創塾

時間●10:00～11:00 漬物コンクール（自由参加）  
11:10～14:30 分科会

会場●竹の浦館（加賀市大聖寺瀬越町イ19-1）  
費用●500円（昼食代）当日集めます。  
定員●40名

「竹の浦館」は、NPO法人「竹の浦夢創塾」が運営する地域交流施設。地域の食材を活用した郷土食伝承の料理教室や漬物のコンクールなどを行い、「食」を通じて地域住民の交流や地域の活性化を推進する拠点となっているが、これらの活動を雇用創出するほどの事業にはなっていない。加賀市を発酵食品の匂いがするまちにしたいの思いを実現するためにはどうすればいいの。恒例のイベント「漬物コンクール」をまちづくりのきっかけにする方法を参加者とともに考える。

近藤先生の漬物アドバイス／内閣総理大臣賞を受賞した農家のおかみさんの活動紹介／「食のまちづくり」について漬物を食べながら意見交換

（ゲスト）

#### 近藤 哲史

財団法人 石川県産業創出支援機構 コーディネーター  
元柳田農業高校校長。30年間、農業高校で教鞭をとった「食品」のエキスパート。食に関する企業経営や商品開発の指導や県立大学と企業の連携や共同研究のコーディネートなどで活躍。JA根上の「ごはんばーがー」、野々市ブランド酒「ichi椿」などの開発も手掛けている。能登を中心に活躍中。

#### 居長原 信子

四万十町十和おかみさん市リーダー  
「十和おかみさん市」は清流四万十川の中流域で活動する地域づくり団体。高知市での産直販売や環境保全型農業を推進し、おかみさんパワーでまちを元気にする長年の活動が認められ、平成17年に内閣総理大臣賞を受賞。道の駅「四万十とおわ」のレストランで定期的に行う郷土料理の「おもてなしバイキング」は人気企画。

（コーディネーター）

#### 赤須 治郎

石川地域づくり協会 コーディネーター

### 第2分科会

城下町大聖寺の景観まちづくり  
～失敗にめげない活動報告～

（協力団体）NPO法人 歴町センター大聖寺

時間●10:00～14:30

会場●深田久弥 山の文化館（加賀市大聖寺番場町18-2）  
集合●9:50 竹の浦館  
費用●2,000円（屋形船乗船代+昼食代）当日集めます。  
定員●25名

“口だす 汗だす 金も出す”を合言葉に真剣に景観町づくり活動をしている4名の楽しい苦労話が参加者のこれからの行動指針となるものと思う。

（ゲスト）

#### 野田 惣八

山の下寺院群景観専門員

NHK「クローズアップ現代」に紹介された「大聖寺山の下寺院群」の景観審査風景が思い出されるが、歴史的景観整備の草分けの専門員である。

#### 宮 長二郎

大聖寺川下りの会代表

二度と帰らない30万円を持ち寄って始めた「屋形船運航」を軌道に乗せ、年間乗船3,000人を数えるに至った功績は、他の追隨を許さないところである。

#### 眞田 茂樹

大聖寺活性化会議

残り少ない大聖寺の町家を大切に保存活用するために、御縁を頼りに一人ひとり説得し、通りや町家に合った事業を紹介して、大聖寺の活性化に一役かっている。

#### 畑島 和美

大聖寺ボランティアガイドクラブ代表

誰も知らない大聖寺に観光客が訪れるようになってきたのは何と言っても「ボランティアガイドのお陰であり、頭が下がる。」

（コーディネーター）

#### 篠原 隆一

加賀市文化財レスキュー隊

NPO活動の当初から参加し、どんな場所に立たされても物怖じしない精神力の持ち主で、NPOの中心人物として活躍している。

### 第4分科会

まちの魅力で人を巻き込め!

～地域内組織の協働にみる、事例と課題～

（協力団体）NPO法人 はづちを

時間●10:00～14:15

会場●はづちを楽堂（加賀市山代温泉18-59-1）  
費用●1,050円（昼食代）当日集めます。  
定員●30名

城下町、港町、温泉街、特産地。そのまち特有の魅力は地域内の絆を育み、さまざまな活動のアイデンティティとして磨かれていく。今も近世の町並みが残る城下町一帯に200を超えるブースが出店する「オータムフェスティバルin龍野」。行政からの資金に頼らず、住民で盛り立ててきた名物イベントの舞台裏を企画担当者が語る。地元からは10月に古総湯が竣工し、さらなる地域発展に向けて第一歩を踏み出した山代温泉の地域活動を紹介。「山代大田楽」などに見られるシカケとシクミづくり、地域内組織の協働のあり方、新たな課題や悩みを参加者とともに考え、追求していく。

（ゲスト）

#### 吉岡 幸彦

姫路市建設局道路部街路建設課長  
オータムフェスティバルin龍野実行委員会副会長

姫路市役所に入所後、主に土木建設畑に従事。担当した街なみ環境整備事業が、住民参加のまちづくり部門で「地域づくり総務大臣表彰」を受賞。現在、姫路市建設局道路部街路建設課長として都市計画道路の建設推進に奮闘している。また、地域のまちづくりにも積極的に参加。今年で8年目を迎える兵庫県たつの市のオータムフェスティバルin龍野副会長（企画担当）をはじめ、龍野武者行列保存会副会長、全国居酒屋探訪倶楽部吉野連会長など肩書き多数。

#### 高間 斉

NPO法人 はづちを副代表理事

山代温泉のまちづくり及び、山代大田楽の担い手。山代温泉で時計店を営む一方で、山代温泉財産区（地域住民による山代の源泉、総湯などの管理団体）や山代わざおぎ（山代大田楽の指導団体）、山代温泉観光協会など山代温泉の自治組織の活動にも積極的に関わる。

（コーディネーター）

#### 吉田 栄治

NPO法人 はづちを元事務局長  
新宿あつむ地域福祉事業部 所長  
新宿区立西早稲田地域交流館 館長

山代大田楽の立ち上げ及び、NPO法人はづちをの創設者の一人。陶芸家として山代九谷焼窯元に勤務していたが地域づくり活動にも関心を持ち、加賀市高齢者プラザ はづちを楽堂設置を期に市民団体（現NPO法人）はづちをの理事及び事務局代表として職員となる。NPO法人はづちをを辞任した現在も、市民・NPO主体のまちづくり活動の促進のため活動中。

※当日は駅伝開催の交通規制のため、会場の駐車場は使用できません。周辺の山代小学校駐車場へ駐車をお願いします。（会場へは徒歩7分）

### 第5分科会

石川の多文化共生の  
進化、深化、新化をさぐる

～在住外国人の仕事づくり×訪日外国人を増やすには?～

（協力団体）NPO法人 たぶんかネット加賀

時間●10:00～14:30

会場●蘇梁館（加賀市熊坂町ハ28-3）  
費用●800円（昼食代）当日集めます。  
定員●30名

石川県内でのこれまでの多文化共生の地域づくりを振り返りながら、日本人も在住外国人も共にWin-Winになれる地域づくりとして石川への訪日外国人の受入体制づくりや仕事づくりを探る。

多文化共生・交流から仕事づくりへ/外国人が訪れたいくなる地域づくり

（ゲスト）

#### 渡邊 崇志

ゲストハウス品川宿館長

東京都北品川出身。学生時代に世界10カ国を旅する。大学では観光学を専攻。昨年10月に旧東海道の第一宿場町である品川にバックパッカー向けの「ゲストハウス品川宿」を開業。品川宿の歴史文化情報を世界へ発信することで宿場町としての復権と、国際交流による地元商店街の活性化を目指している。旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会会員。

#### 川上 広造

アーテックス株式会社 代表取締役

金沢市出身。金沢を訪れる外国人旅行者のための英語版フリーペーパー「Eye on Kanazawa」を2008年に創刊。国際都市金沢の情報を世界の人たちへ発信している。

#### アンデルス・ゲイトウ、西出 直美 Métissage 店主

アンデルスさんはフランス・パリ郊外出身。コスタリカ、ロンドン、パリでパン職人として働く。コスタリカで出会った直美さんと結婚し、5年前から直美さんの実家のある粟津温泉で住む。日本語で「交流する」という意味のパン店「Métissage（メティサージュ）」を2年前から開業。

（コーディネーター）

#### 谷口 健一

ねあがりカライダスコープ代表

能美市山口出身。ねあがりカライダスコープ代表。根上地区で、国際協力、多文化共生の地域づくりを進めている。能美市協働型まちづくりの推進をする市民会議にも参画、現在、市民活動支援補助金事業やまちづくり人材育成事業の企画、運営にも関わっている。

※この分科会は母語で発言できるよう、通訳つきの多言語で行います。（日本語・英語・スペイン語・フランス語・中国語）  
※昼食は各自で用意いただいても構いません。近くにスーパーもあります。

私たちって  
なんか、  
いい関係

### 全体会

時間●15:00～18:00

会場●竹の浦館 多目的ホール

（プログラム①）

石川地域づくり表彰

表彰状授与式、受賞者の活動報告

（プログラム②）

分科会報告

（プログラム③）

ひな壇トーク!

「地域づくりとwin-winの関係」

地域づくりの達人たちがとっておきの「win-win」話を披露。会場からの質問にも答えます。

出演者

分科会のゲストとコーディネーターのみなさん

進行役

赤須 治郎

石川地域づくり協会 コーディネーター

どなたでも参加できる  
名物プログラム!

### 交流会

時間●18:30～19:30

会場●竹の浦館 食堂

会費●当日は会費1,000円+1,000円相当の特産物を持参してください。食べ物以外でもOKです。

地域づくりに携わる人や、地域づくりに興味がある人が大集結。団体紹介・イベント案内・特産物PRができます。

●うまいもんがずらり「立食コーナー」  
●地域自慢の味と技「特産物コーナー」

### 《当日スケジュール》

■分科会

9:30 受付開始  
10:00 分科会開始  
14:30 すべての分科会が終了

■全体会 竹の浦館 多目的ホール

14:30 受付開始  
15:00 全体会開始  
18:00 終了

■交流会 竹の浦館 食堂

18:00 受付開始  
18:30 交流会開始  
19:30 終了

■夜なべ談義（自主開催）

19:30～